

「公園に暮らすまち、千里」への社会実験 ～吹田市 千里南公園～

福本優（兵庫県立人と自然の博物館）



日常の風景を生む社会実験

「公園に暮らすまち、千里」をコンセプトに、コーヒースタンドを出店しつつ公園利用者にヒアリングを行う社会実験を2016年から、月2回、継続して調査をしている。日常の風景となることで、市民が公園に求めること、カフェに求めることが“単なるカフェ”でなく、誰かと出会える居場所としての公園を求めていることがわかってきている。

小さな協働を生む仕掛け

公園で表現したい市民を募集し、一緒にマルシェを作りあげた。関西大学の学生を中心に、「公園をどんな場所にしたいか」を共有し、「公園でこんなことをしたい」を実現してもらえよう、各出店者と打ち合わせを繰り返した。公園が単なる商空間としてのマルシェ会場となるのではなく、市民が自由にコトを起こせる場としての公園マネジメントの試行を行った。



市民と一緒につくる公園へ

「おはなしポスト」を公園に設置し、コーヒースタンドで出会うことが出来ない人々の声も聞く取り組みを2018年度より始めている。掲示板でイベントを告知するだけでなく、公園についての市民の思いも受け止められる仕組みとして簡単に記入できるカードを用いるなど工夫をしている。双方向性を持つ、超ローカルメディアとしての掲示板を目指し実験し始めた。

実施主体 吹田市 花とみどりの情報センター（HP：<http://www.suitahanamido.com/> TEL:06-6155-1987）
関西大学住環境デザイン研究室（岡絵理子教授）兵庫県立人と自然の博物館（福本優研究員）